3月のほけんだより

令和５年３月
３月号
西中保健室

学校でのケガの受診・・・。申請はお済ですか？？？

学校の管理下（登下校・授業中・部活動中など）でのケガで医療機関を受診し、医療費総額（医療保険でいう１０割分）が５０００円以上（診療報酬点数５００点以上）の場合、日本スポーツ振興センター災害給付金制度の申請対象となります。

申請される方は、担任や顧問、または養護担当までご連絡ください。

また、用紙はもらったけれど提出を忘れているという人は、申請期限がありますので、できるだけ早く提出をお願いします。

3月は自分を見直すチャンス！

暖かい日も少しずつ増えてきて、春の訪れを感じますね。
今学期もあと少しで終わります。皆さんにとって、どんな１年になりましたか？
楽しかったことや一生懸命頑張ったこと、時には悔しかったこともあるかと思います。
「失敗は成功の基」という言葉があるように、楽しいことも、つらいことも経験して
私たちは日々、成長していきます。この１年間で、皆さんが経験したこと全てが皆さんの
新たな力になっていますよ。大丈夫！自信をもって新たな学年を迎えてくださいね！

あたりまえをありがとうに

これって あたりまえ？

「あたりまえ」とは、そうあるべきこと（＝当然）や、ありふれていること（＝普通）という意味。一方「ありがとう」は、めったにない・めずらしいことを意味する「有り難い」からできた言葉で、みなさんが知っているように感謝の気持ちを表します。

３月９日は「サンキューの日」。やってもらって「あたりまえ」ではなく、「いつもありがとう」と伝えられたら、ちょっとだけハッピーになれるかも!?

電話の声は“本当の声”じゃない!?

家族や友だちと電話をした時、「いつも聞いている声とちょっと違うな」と感じたことはありませんか？　実は、電話で聞こえる声は“本当の声”ではありません。

じゃあ誰の声？

電話をするとき、私たちの声はデジタル化され、本来の声に近い「合成音声」に自動的に変換されます。合成音声の種類は、なんと約43億種類！　この中から、その人に近い声を見つけ、一瞬で音声を作り出しています。つまり、電話では“機械の声”で会話をしているのです。

３月３日は「耳の日」。“機械の声”でも“本当の声”でもいいので、家族や友だちと話すきっかけにしてはどうでしょうか。